



小島日本数学会理事長



リオンス教授



スマイル教授



ブロック教授

京大と日本数学会が第1回「高木レクチャー」

日本数学会と京都大学数理解析研究所の共催による第1回「高木レクチャー」が、このほど二日間、錦秋の京都で開催された。

「高木レクチャー」は明治・大正・昭和期の数学者、高木貞治（一八七五〜一九六〇）の名を冠したもの。数学者の名前を冠した定期的な講演会は、わが国初の試みで、今年三月に日本数学会が創設した。

毎年、世界から卓越した数学者を日本に招き、気概に満ちた研究総説講演を若手研究者・大学院生を含む専門分野を超えた数学者が聴くことにより、創造のインスピレーションを引き起こし、新たな数学の発展に寄与することを目的としている。

記念すべき初開催となった今回は、スマイル教授（豊田工大シカゴ校・シカゴ大学、一九六六年フィールズ賞受賞）、リオンス教授（コレージュ・ド・フランス、一九九四年フィールズ賞受賞）、ヴォワザン教授（CNRS）、ブロック教授（シカゴ大学）の著名研究者四名による二日間の連続講演が行われ、全国から参加した約百四十名の研究者が熱心に聴講した。

当日は、講演予稿が無料配布された。各講演をもとにした研究総説論文は、日本数学会の欧文学術誌「JJM（日本数学誌）」に厳正な査読を経て掲載される予定。第二回は来年五月末、東大で開催されることになっている。